

助成活動実績報告書

企画名	アマモ場再生で形成される日生の食文化の伝承
団体名	認定NPO法人 共存の森ネットワーク
<p>①活動の目的について</p> <p>岡山県内外の大学生がアマモ場再生活動や魚食調査を通し、日生地域の文化を「食」から学び発信することによって、日生内外の人に日生の海と関わる中で形成されてきた文化の豊かさ知ってもらい、日生の里海を守りつなげていく新たな継承者を増やすことを目的として活動しました。</p> <p>②内容について</p> <p>岡山県備前市日生町において、岡山県内外の大学生が、日生地域の魚食文化について調べ、パンフレットや映像にまとめて発信する活動を行いました。詳細は下記のとおりです。</p> <p>【5月27-28日 壺網漁師の奥さんによる日生の魚料理教室】</p> <p>於：日生町公民館ならびに日生町 参加人数：9人（うち、地元の方3名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・27日は、翌日の料理教室に向けて大学生スタッフでパンフレットの構成の検討と、聞き取り内容の打ち合わせを行いました。また、講習中の記録担当者の役割分担の確認を行いました。 ・日生地域にお住いの漁師以外の一般住民の方にインタビューを行い、日生の一般家庭の魚料理について話を伺いました。また、その方の案内で、頭島を歩き、パンフレットに掲載する写真の撮影を行いました。 ・28日は、日生公民館の調理室にて壺網漁師の奥さんである藤生喜江子さんを講師に迎え、日生の魚料理の作り方を教わりました。この時期に壺網で獲れる魚を中心に、4種類の料理についてならいました。 ・藤生さんには、料理の話とあわせて、日生町の漁業のことや、代々漁師の家庭で育った喜江子さん子供のころの話などを伺いました。 ・ここで聞いた内容と打ち合わせたことをそれぞれに持ち帰り、パンフレット作成を分担して始めました。 <p>【8月17-18日 魚料理のレシピ動画の撮影】</p> <p>於：日生町、岡山市北ふれあいセンター 調理室 参加人数：5人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17日に岡山市内の学生が日生に行き、翌日の撮影時に使う材料の調達を行いました。 ・また、昨年度中に魚料理を教わった壺網漁師の奥さんである本田満寿美さんのところへ行き、料理の不明点や壺網漁のことについて補足の聞き取りを行いました。 ・パンフレットの設置場所を検討するため、日生町内のカキオコ店や一般商店をめぐり、パンフレット設置の可能性について話を聞いて回りました。 ・18日は岡山市の北ふれあいセンターにて、5月と昨年度2月に教わった魚料理の中から3種類のレシピを選び、動画にまとめるための撮影を行いました。 ・撮影した動画は、担当の学生が持ち帰り、3分ほどの動画にまとめる作業を行っています。 	

【10月14日 於：日生漁協 参加人数：3名】

- ・日生漁協が実施しているアマモの種の選別、種まき作業に参加しました。
- ・パンフレット記載内容の確認作業を行いました。

※パンフレットは現在、デザイナーとレイアウト・仕上げ作業を進めており、3月中旬に完成予定です。また、映像についても現在作成中で、3月内のwebへのアップを予定しています。

③この活動によって達成された成果

■日生の魚料理の記録の作成

これまで聞いてきた日生の魚料理について、パンフレットにまとめるために改めて分量や手順を細かく聞き、まとめることで、日生の魚料理についての記録がまとまりました。まだ、パンフレットは完成していませんが、完成したものをういて、牡蠣祭りや日生を訪れる多くの人に配布することで、これまで日生を知らなかった層や日生を訪れていても牡蠣以外の魚料理を知らない層に、日生の魚食文化を広めていくことができ、それによって、日生の魚を味わいたいという人が日生を訪れることが、これまでとは違った時期に訪れてくれることを期待できると考えています。

■日生の人と日生外の学生の交流

パンフレットづくりというこれまでの活動と違った切り口の活動を展開したことで、デザインやパンフレットの制作に関心を持つ学生が活動に参加するようになりました。このことにより、新たに日生に関心を持つ学生を増やすことができました。

④今後の計画・展望について

まずは、パンフレットを完成させ、日生町内をはじめ、活動に参加してきた学生等を通して、県内外で配布・発信を行います。また、映像についても順次完成をさせ、youtubeで発信を行います。

また、次年度は、アマモ場の再生活動への参加を中心に行いつつ、完成したパンフレットや映像、また、日生中学校でサポートしてきた海洋学習に係る資料等を用いて、日生地域の魅力を発信する活動を続けていきます。

なお、現在、もろもろの活動については岡山大学大学院の学生が中心となって日生地域と連絡を取り合うようになっており、今後は、その岡山大学の学生を中心に、中四国地域の聞き書き甲子園のネットワークや、愛媛大学からの参加学生のネットワークを通して、細くても長く、地域と関わる活動を継続していく予定です。

写真等参考資料

■5月 壺網漁師の奥さんによる日生の魚料理教室



■8月 魚料理のレシピ動画の撮影の様子

